

2020年度

大学・短期大学 初年度納付金一覧

全国の大学・短期大学の初年度納付金額を掲載しています。
初年度納付金は、私立大学だけでなく、国公立大学でも一律ではありません。
同じ大学・学部でも、学科や専攻によって異なる場合がありますので、
気になる大学・短期大学の初年度納付金は、
あらかじめきちんと調べておきましょう。

この一覧は2020年度のデータです。
志望校の初年度納付金は、
2021年度入試用の大学パンフなど、
学校公式発信の資料で必ず確認してください。

2020年度大学・短期大学 初年度納付金一覧の見方

大学名	学部名	学科〈専攻など〉名	初年度納付金		
			うち授業料	うち入学金	
〇〇〇〇大 パンフ (p.〇〇)	文	全	902,600	615,000	282,000
		市内出身者	761,600	474,000	141,000
〇〇経済大	経済	経済	1,145,600	798,000	340,000
		経営システム	1,365,000	905,000	340,000

大学名／学部名／学科〈専攻など〉名

2020年1月14日までに各大学・短期大学から入手した内容を基に作成しています。

- 大学・学部・学科の名称は、一部の大学を除き2020年1月時点の情報です。名称の一部を省略しています。
- 同一大学内、同一学部内で金額が同じ場合は、それぞれ学部名、学科名を「全」と表示しています。
- 大学名や学部・学科名の欄に★印の付いているところは、過年度の実績金額です。
- 2020年度新增設・改組の学部・学科は含まれていないことがあります。
- 専攻・コースにより納付金額が異なる場合は、学科名欄に☆印を付け、最も金額の低い専攻・コースの情報を掲載しています。
- 大学名の下に(p.〇〇)は、「個別大学レポート」での掲載ページです。
- パンフ**の表示がある大学・短期大学は、「大学パンフ取り寄せはがき」「FAXシート」を使って簡単に大学パンフを取り寄せることができます。詳しくは、本誌p.12「学問別大学リスト」か、別冊「保護者のための合格&入学サポートブック(年間保護者版)」p.1をご覧ください。

※大学パンフは無料です(一部、有料の大学パンフもあります)。

初年度納付金

初年度納付金は各大学・短期大学が公表している金額を掲載しています。大学・短期大学によっては別途諸費用、消費税がかかる場合があります。詳細は必ず、大学パンフなど、学校公式発信の資料をご確認ください。

■初年度納付金の内訳

- 授業料**
年間に必要な金額を掲載しています(多くの場合、分納が可能です)。
- 入学金**
入学時のみ必要で、入学手続き時に納めます。
- 公立大学・短期大学**では多くの場合、大学・短期大学が所在する地域の住民は入学金が低額となります。一覧には「〇〇出身者」として表記していますが、適用される条件は大学・短期大学によって異なります。詳細は必ず学校公式発信の資料をご確認ください。

■参考：初年度納付金の納入方法

合格したら、指定期日までに所定の方法で納入手続きをしないと入学が認められません。なお、大学・短期大学によって納入方法が異なる場合があります。

- ①**2段階方式** 1次手続き時に入学金を納入し、2次手続き時(約1か月後)に残額を納入します。2次手続きを終えないと、入学は認められません。入学を辞退しても、1次手続きで納めた入学金は、多くの場合返還されません。
- ②**返還方式** 入学手続きが完了した後でも、大学が指定した日までに入学を辞退した場合は、入学手続き時に支払った納付金の一部(一般的には入学金を除いた金額)が返還されます。
- ③**延納方式** 一括納付が原則ですが、延納を申し込んだ場合は、入学金以外の初年度納付金を指定された日まで延納できます。
- ④**一括納入方式** 入学手続き期間中に、初年度納付金を一括して納入しなければなりません(芸術系の大学・学部や合格発表の遅い大学に多い)。納入後に入学を辞退しても入学金は返還されない場合があります。

■参考：授業料・入学金以外に必要な費用

- 設備費** 施設・設備の使用および管理のための費用。教育充実費を含む場合もあります。
 - 実習費** 実習・演習などに必要な費用。一般的には文系よりも理系が高く、医学・歯学系の大学・学部が最も高くなっています。
 - 諸会費** 各大学の校友会や後援会などの会費。
 - その他** 大学・学部によって必要な諸経費。寄付金や学債の引き受けを任意に求めるところもありますが、強制的なものは多くありません。
- 〈例〉
教科書・テキスト代(後期分を含まない場合もあります)
実習関連費用(教材費、用具代、消耗品費、食料費など)
研修費(宿泊、ゼミ、海外研修、留学など)
預かり金(材料購入費、国家試験等受験料など)
ユニフォーム代(制服、徽章、白衣、スーツ、コックコート、靴、保護眼鏡など)
パソコン代(仕様指定があったり、指定ソフトが必要だったりする場合があります)
会費(学生会、自治会、後援会、保護者会など)
各種保険料(傷害・賠償など、修業年限分が必要です)
寮費(全寮制の大学もあります)